

(表紙)

別添1

計画名:黒潮町防災子ども安全まちづくりの推進(重点)(防災・安全)

都市防災事業計画(当初)

(佐賀地区外6地区都市防災総合推進事業)

高知県黒潮町

平成30年3月

(様式1)整備方針等
整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

(町域全域及び事業地区【佐賀地区、有井川地区、浮鞭地区、入野地区、下田の口地区、田野浦地区、出口地区】における防災上の現状及び課題)

黒潮町は、高知県幡多郡「大方町」「佐賀町」の合併による新しい町として、平成18年3月20日に誕生した。四国、高知県の西南地域にあり、幡多郡では東部に位置し、町の面積は188.47平方キロメートルとなっている。北東部を四万十町、北西部を四万十市と接している。北東から南西にかけ細長い地形をなすため、東西で対照的な海岸線を有し、東側は断崖絶壁のリアス式海岸、西側は砂浜等のなだらかな海岸で形成されている。海岸部の地域は大半が人家の密集した大集落で形成され、町の大部分を占める山間部は過疎化の進展が著しい小集落で形成されている。

本町は平成24年3月に内閣府が公表した南海トラフの巨大地震による震度分布・津波高の推計で最大震度7、最大津波高34.4mという日本一厳しい数字が示された。その後、高知県が公表した「南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測」を基に、避難困難区域の解消を目指して津波避難場所や津波避難路の整備を行ってきたところである。今後も住民が津波から安全・安心に避難できるハード整備、避難放棄者ゼロを目指したソフト施策等、スピード感を持って取り組むことが求められている。特に、津波被害が著しい沿岸部の地区については、最低限命を守るハード整備が喫緊の課題となっている。

また、南海トラフ巨大地震発生時や気象災害発生時に山間部の小集落は孤立の可能性が高く、孤立対策も課題である。

佐賀地区、有井川地区、浮鞭地区、入野地区、下田の口地区、田野浦地区、出口地区は黒潮町の沿岸部に位置し、全て津波浸水する地区である。海岸沿いに集落があり、背後は急峻な崖となっており、災害時には集落は津波浸水、背後は土砂災害の発生が予想され、地区の住民が安全で確実に避難できる避難路と避難場所がまだ十分でない。

【整備方針】

(町域全域及び事業地区【佐賀地区、有井川地区、浮鞭地区、入野地区、下田の口地区、田野浦地区、出口地区】における防災上の課題解決のための整備方針)

黒潮町では平成24年3月に内閣府が公表した新想定において最大津波高34.4mが示され、避難放棄者や震災前過疎が懸念された。その後、本町では「黒潮町南海地震・津波防災計画の基本的な考え方」を策定し、町職員全員を対象とした地域担当制を開始した。この取り組みの一環として各地区の必要な避難路及び避難場所、防災拠点の整備を地区とともに考え、整備を進めてきた。

しかしながら、町全域で整備が不十分な地区があることから、引き続き避難路及び避難場所を整備する。また、地区住民が災害時に活動できる拠点施設がない地区があり、早急に整備する必要がある。

佐賀地区、田野浦地区は、津波浸水想定内において津波避難困難区域が解消されておらず、地区の住民が安全安心に避難できる避難路及び避難場所を整備する。また、有井川地区、浮鞭地区、入野地区、下田の口地区、出口地区では、住民が災害時に活動できる拠点施設がないことから、平時には防災講演や勉強会に使用でき、災害時には確実に使用できる拠点施設を整備する。

計画事業一覧

都道府県名	高知県	市町村名	黒潮町	計画期間	平成30年度～平成34年度	
担当部局名	— 部(局) まちづくり課 都市計画係	担当者	(正) 国見 和志 (副) 岡田 典久	連絡先	TEL 0880-43-2115 FAX 0880-43-2123 e-mail kunimi.kazushi@town.kuroshio.lg.jp	

事業区分	事業主体	事業地区名	地区面積 (ha)	都市防災総合推進事業 における事業期間		補助率	補助事業費(予定)額		
				開始年度	終了年度		(参考)事業費	(参考)国費	
地区公共	地区公共 施設整備	黒潮町	佐賀地区(避難路・避難広場) Σ N=2箇所、L=146m、W=1.5m、A=130	350ha	平成30年度	平成30年度	2/3	31.0	20.7
		黒潮町	田野浦地区(避難路) Σ N=1箇所、L=100m、W=1.5m	346ha	平成30年度	平成30年度	2/3	12.0	8.0
	防災まちづくり 拠点施設	黒潮町	有井川地区(有井川地区防災まちづくり拠点施設整備) Σ N=1箇所	316ha	平成32年度	平成34年度	1/2 用地1/3	65.0 (1/2:50.0、1/3:15.0)	30.0 (1/2:25.0、1/3:5.0)
		黒潮町	浮鞭地区(鞭地区防災まちづくり拠点施設整備) Σ N=1箇所	282ha	平成30年度	平成32年度	1/2	35.0	17.5
		黒潮町	入野地区(入野地区防災まちづくり拠点施設整備) Σ N=1箇所	551ha	平成33年度	平成34年度	1/2 用地1/3	44.0 (1/2:35.0、1/3:9.0)	20.5 (1/2:17.5、1/3:3.0)
		黒潮町	下田の口地区(下田の口地区防災まちづくり拠点施設整備) Σ N=1箇所	284ha	平成33年度	平成34年度	1/2 用地1/3	44.0 (1/2:35.0、1/3:9.0)	20.5 (1/2:17.5、1/3:3.0)
		黒潮町	出口地区(出口地区まちづくり拠点施設整備) Σ N=1箇所	346ha	平成32年度	平成32年度	1/2	50.0	25.0
合計							281.0	142.2	

注) 補助事業費について百万円単位。

注) 該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

(様式3)関連事業[都市防災上の課題解決に関連する事業]

事業区分	事業主体	事業地区名	事業規模(面積、延長、幅員等)	総事業費 (国費ベース)	事業期間		事業実施状況	重点密集 市街地の有無
					開始年度	終了年度		
社会資本整備総合交付金 C事業(効果促進事業)	黒潮町	黒潮町	1式	70.0 (35.0)	H30	H34	地域の子どもの安全に資する側溝蓋設置、ガードレール設置、カーブミラー設置、街路灯等を設置	無
漁港漁村環境整備事業	黒潮町	佐賀地区	避難路 2箇所	44.0 (29.3)	H26	H30	H26～30年度に避難路を整備予定	無
農村地域防災減災事業	黒潮町	下田の口他2地区	避難路 4箇所 避難広場 2箇所	419.0 (279.0)	H29	H33	H27～31年度に避難路、避難広場を整備予定	無

注) 総事業費について百万円単位。

事業区分		事業主体	事業地区名 整備内容	重点密集 市街地	補助率	[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【百万円単位】					
						H30	H31	H32	H33	H34	計
地区公共	地区公共 施設整備	黒潮町	佐賀地区(避難路・避難広場) Σ N=2箇所、L=146m、W=1.5m、A=130	×	2/3	20.7	-	-	-	-	20.7
			田野浦地区(避難路) Σ N=1箇所、L=100m、W=1.5m	×	2/3	8.0	-	-	-	-	8.0
	防災まちづくり 拠点施設		有井川地区(有井川地区防災まちづくり拠点施設整備) Σ N=1箇所	×	1/2 用地1/3	-	-	-	30.0	-	30.0
			浮鞭地区(鞭地区防災まちづくり拠点施設整備) Σ N=1箇所	×	1/2 用地1/3	-	-	-	17.5	-	17.5
			入野地区(入野地区防災まちづくり拠点施設整備) Σ N=1箇所	×	1/2 用地1/3	-	-	-	-	20.5	20.5
			下田の口地区(下田の口地区防災まちづくり拠点施設整備) Σ N=1箇所	×	1/2 用地1/3	-	-	-	-	20.5	20.5
			出口地区(出口地区まちづくり拠点施設整備) Σ N=1箇所	×	1/2 用地1/3	-	-	-	25.0	-	25.0
合計					28.7	-	-	72.5	41.0	142.2	
					-	-	-	-	-	-	

(様式5)年度別事業計画【参考】

○補助額の内訳

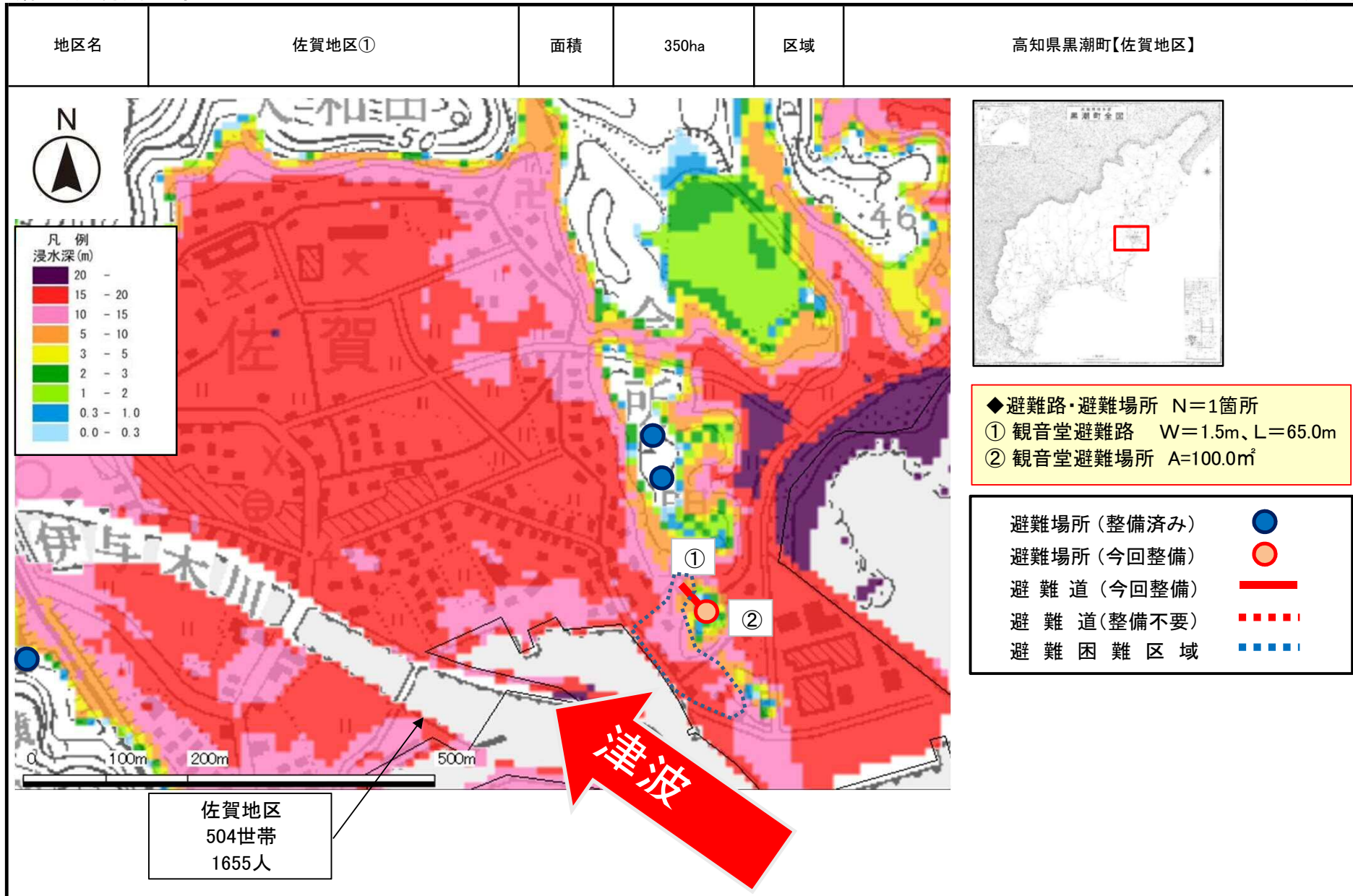
[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【百万円単位】

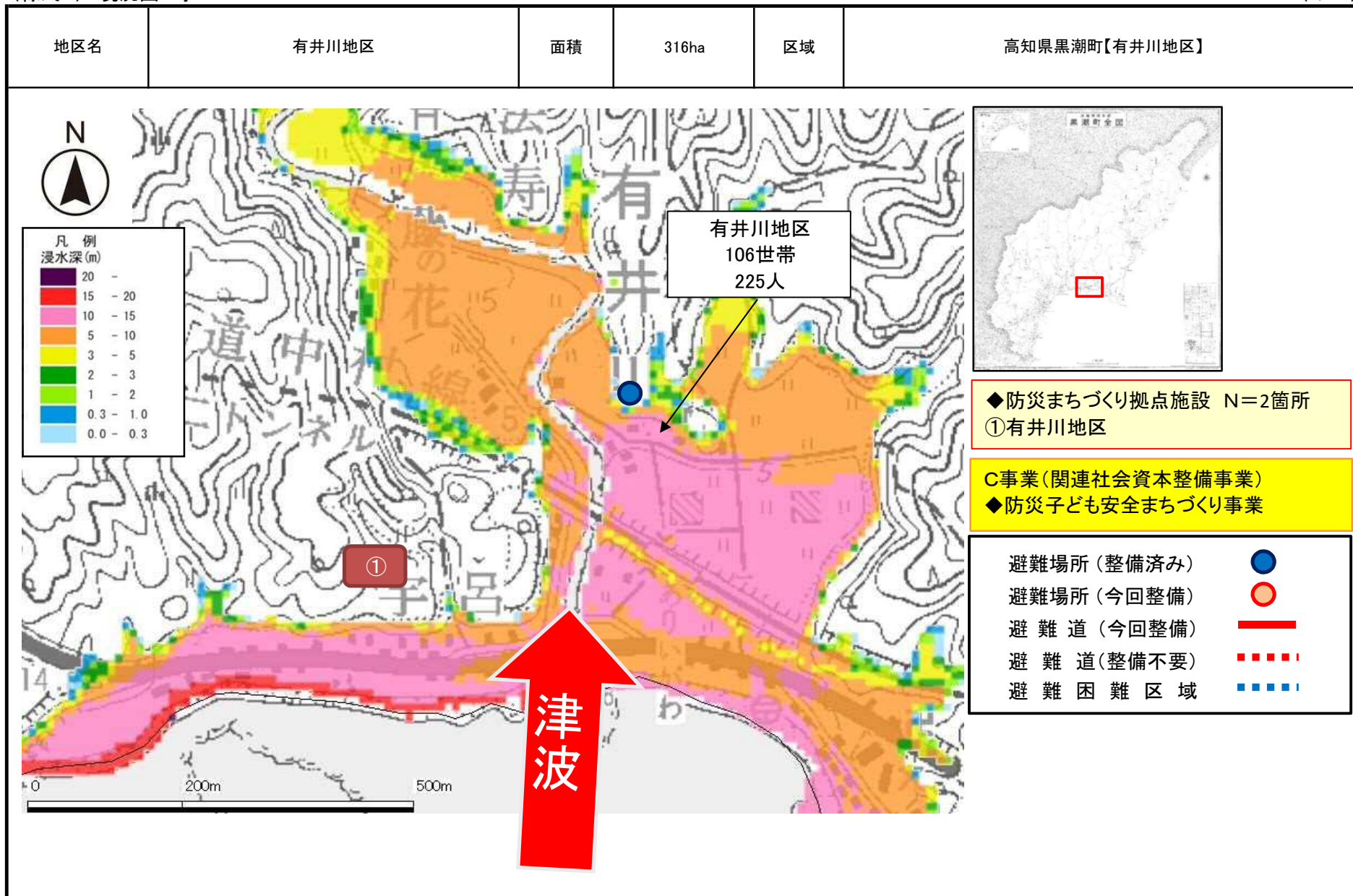
事業地区名	整備内容	整備の内訳	補助率	H30	H31	H32	H33	H34	計	
佐賀地区	避難路 避難広場	用地以外	2/3	20.7	-	-	-	-	20.7	
		用地	1/3	-	-	-	-	-	-	
有井川地区	有井川地区防災活動拠点施設整備	用地以外	1/2	-	-	-	25.0	-	25.0	
		用地	1/3	-	-	-	5.0	-	5.0	
浮鞭地区	浮鞭地区防災活動拠点施設整備	用地以外	1/2	-	-	-	17.5	-	17.5	
入野地区	入野地区防災活動拠点施設整備	用地以外	1/2	-	-	-	-	17.5	17.5	
		用地	1/3	-	-	-	-	3.0	3.0	
下田の口地区	下田の口地区防災活動拠点施設整備	用地以外	1/2	-	-	-	-	17.5	17.5	
		用地	1/3	-	-	-	-	3.0	3.0	
田野浦地区	避難路	用地以外	2/3	8.0	-	-	-	-	8.0	
出口地区	出口地区防災活動拠点施設整備	用地以外	1/2	-	-	-	25.0	-	25.0	
				合計	28.7	-	-	72.5	41.0	142.2
					-	-	-	-	-	-

○用地取得面積

[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【㎡単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	補助率	H30	H31	H32	H33	H34	計
有井川地区	有井川地区防災活動拠点施設	用地	1/3			600.0			600.0
入野地区	入野地区防災活動拠点施設	用地	1/3					400.0	400.0
下田の口地区	下田の口地区防災活動拠点施設	用地	1/3					400.0	400.0

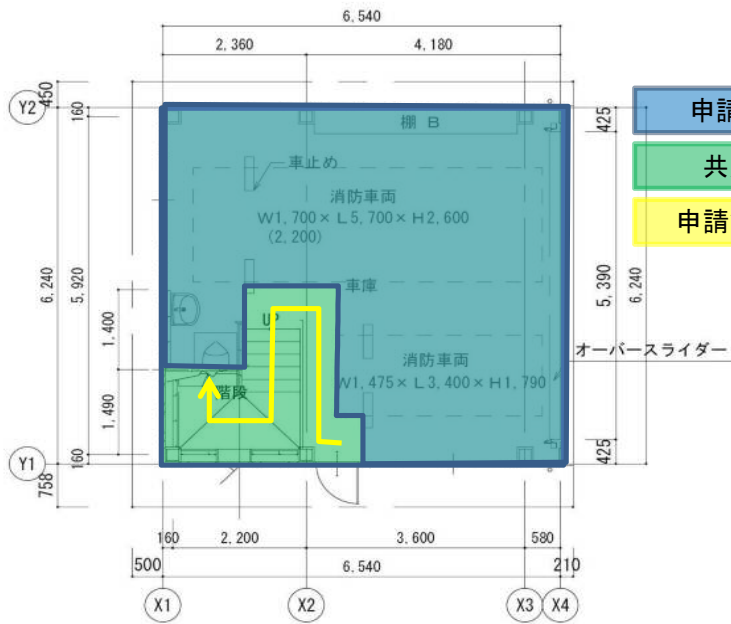




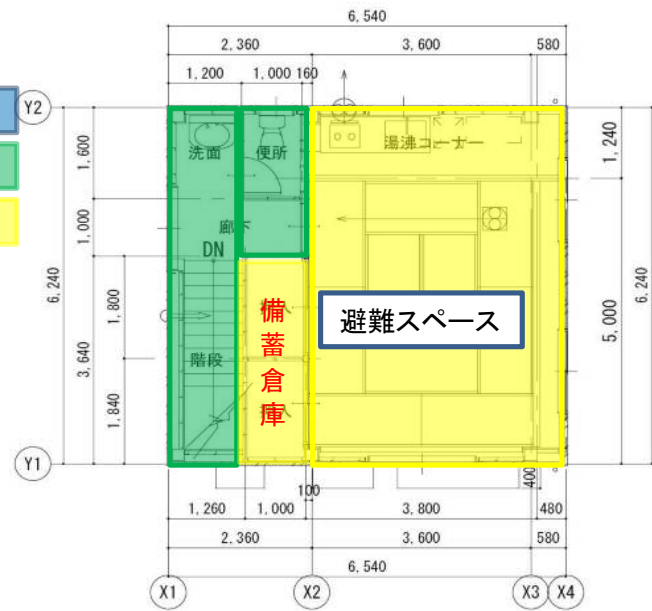
地区名	有井川地区	面積	316ha	区域	高知県黒潮町【有井川地区】
-----	-------	----	-------	----	---------------

防災まちづくり拠点施設図面 面積按分

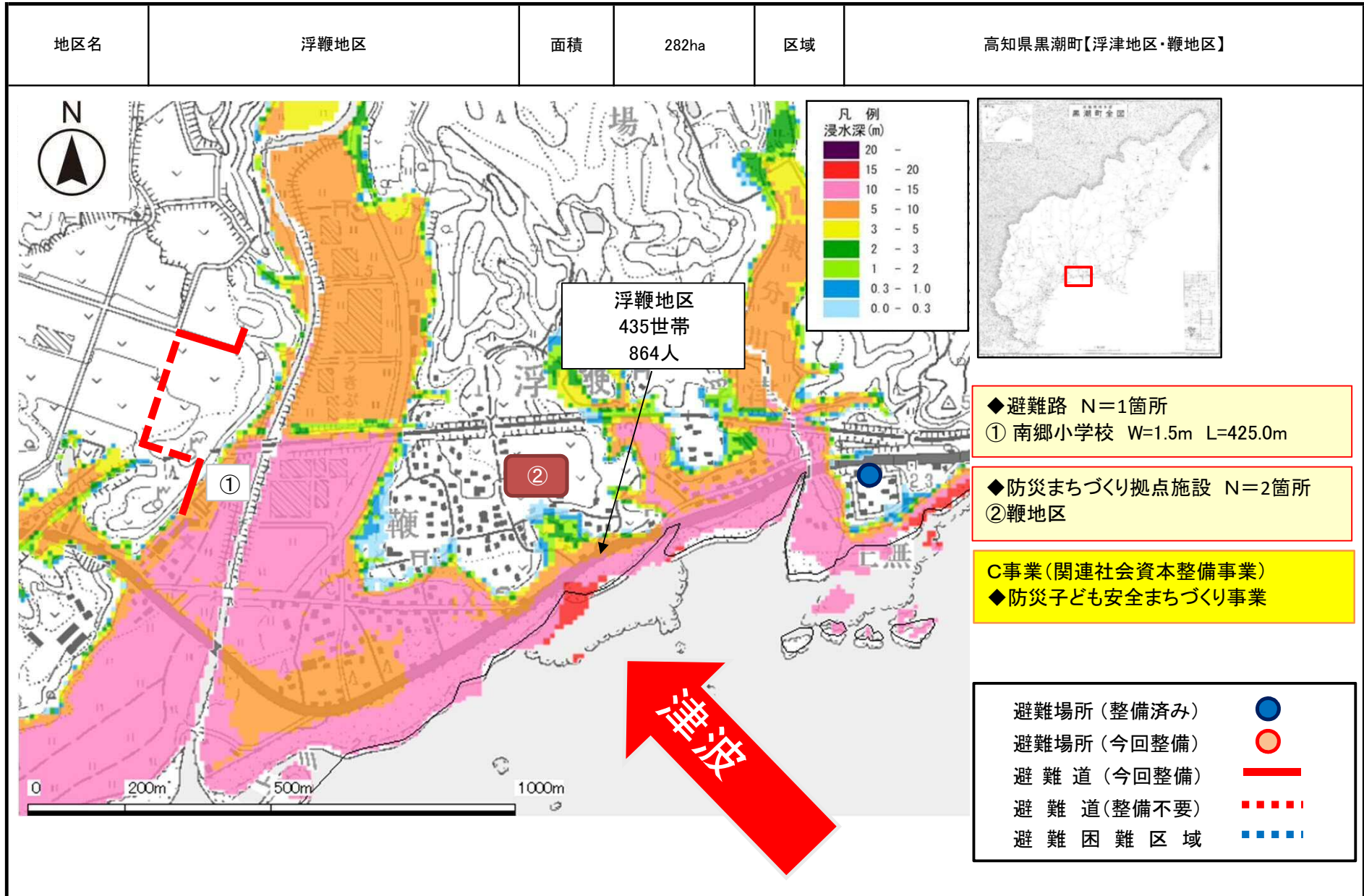
○アロケの考え方
 供用面積(対象) = 供用面積 × (対象面積 / (対象面積 + 対象外面積))
 総対象面積 = 対象面積 + 供用面積(対象)
 按分率 = 総対象面積 / 総面積



1階 平面図 S:1/100



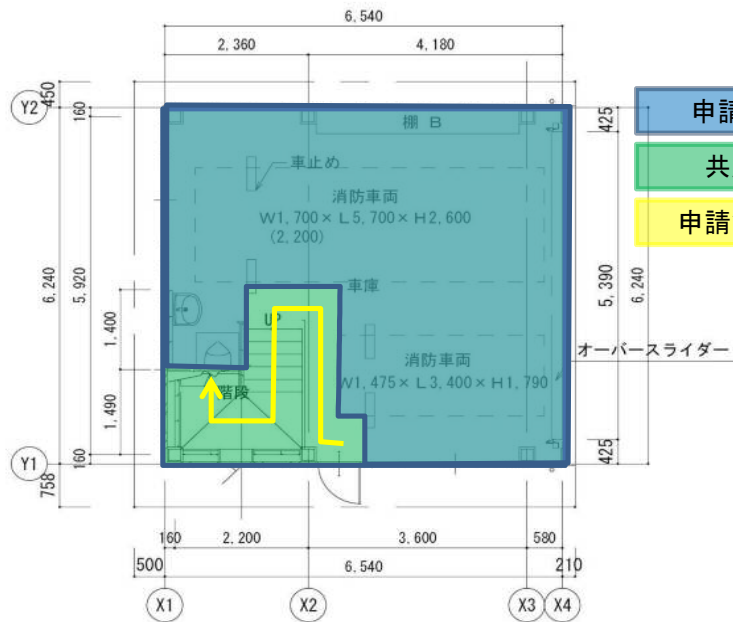
2階 平面図 S:1/100



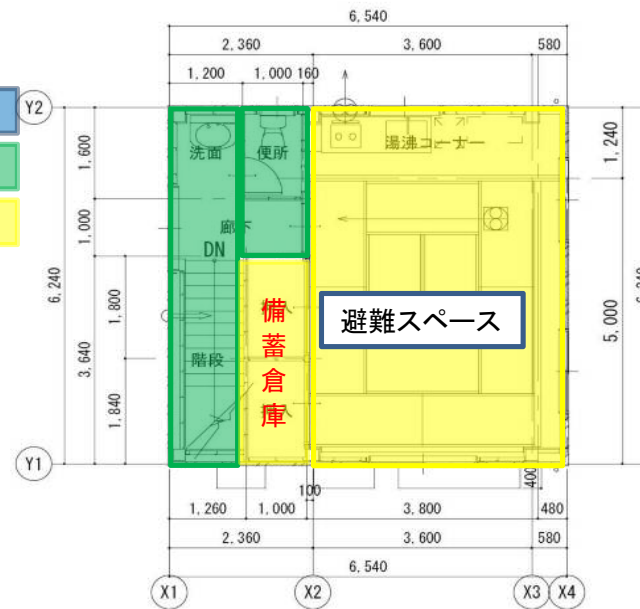
地区名	浮鞭地区	面積	282ha	区域	高知県黒潮町【鞭地区】
-----	------	----	-------	----	-------------

防災まちづくり拠点施設図面 面積按分

○アロケの考え方
 供用面積(対象) = 供用面積 × (対象面積 / (対象面積 + 対象外面積))
 総対象面積 = 対象面積 + 供用面積(対象)
 按分率 = 総対象面積 / 総面積



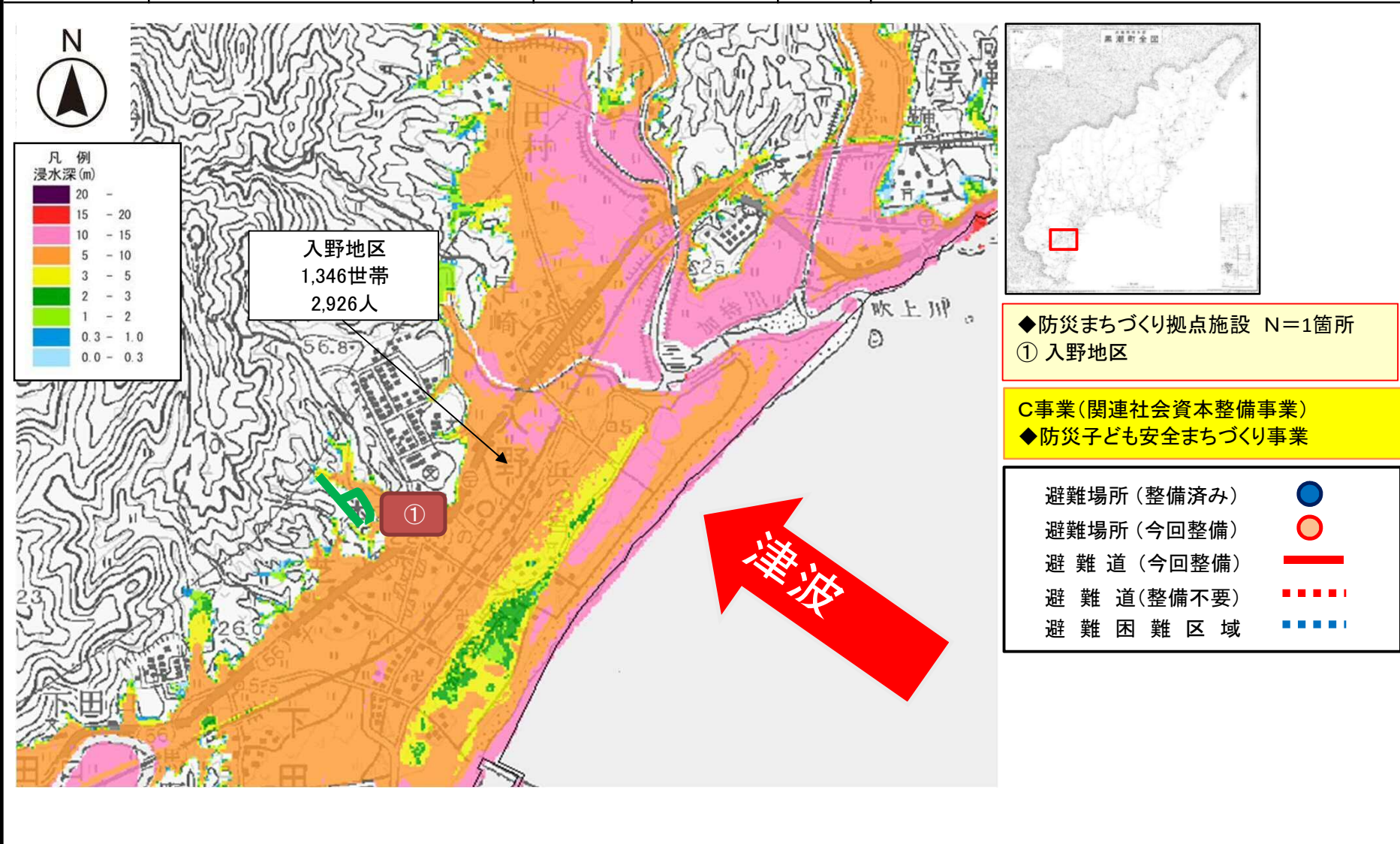
1階 平面図 S:1/100



2階 平面図 S:1/100

- 申請外
- 共用
- 申請箇所

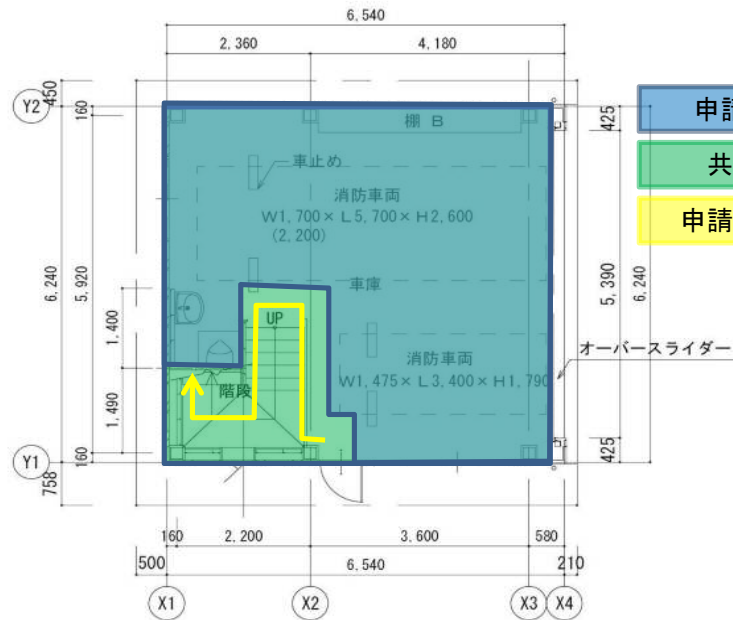
地区名	入野地区	面積	551ha	区域	高知県黒潮町【入野地区】
-----	------	----	-------	----	--------------



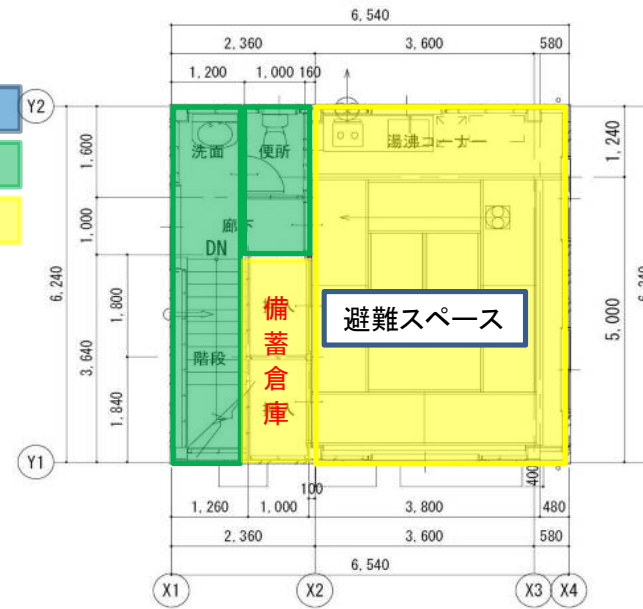
地区名	入野地区	面積	551ha	区域	高知県黒潮町【入野地区】
-----	------	----	-------	----	--------------

防災まちづくり拠点施設図面 面積按分

○アロケの考え方
 供用面積(対象) = 供用面積 × (対象面積 / (対象面積 + 対象外面積))
 総対象面積 = 対象面積 + 供用面積(対象)
 按分率 = 総対象面積 / 総面積

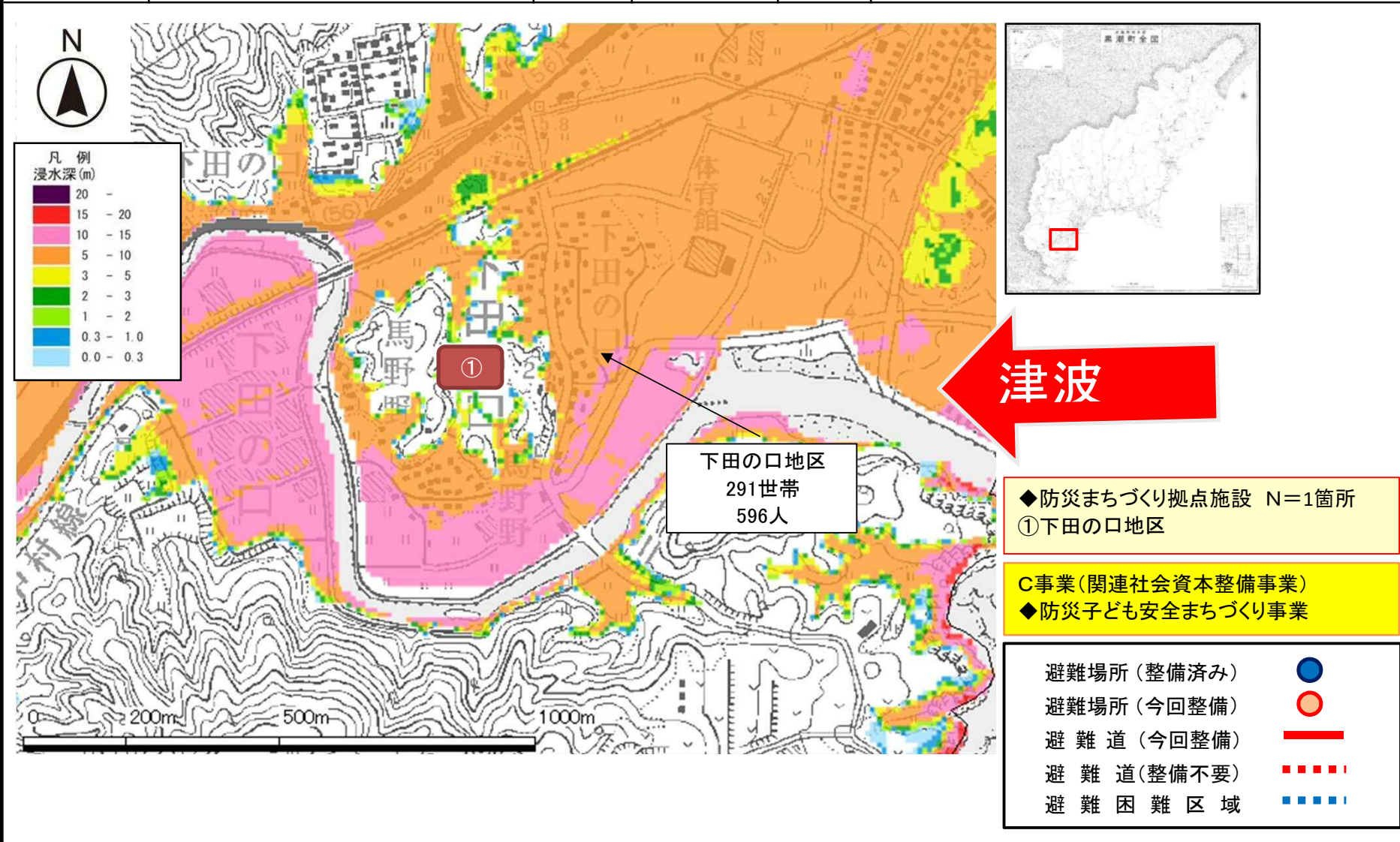


1階 平面図 S:1/100



2階 平面図 S:1/100

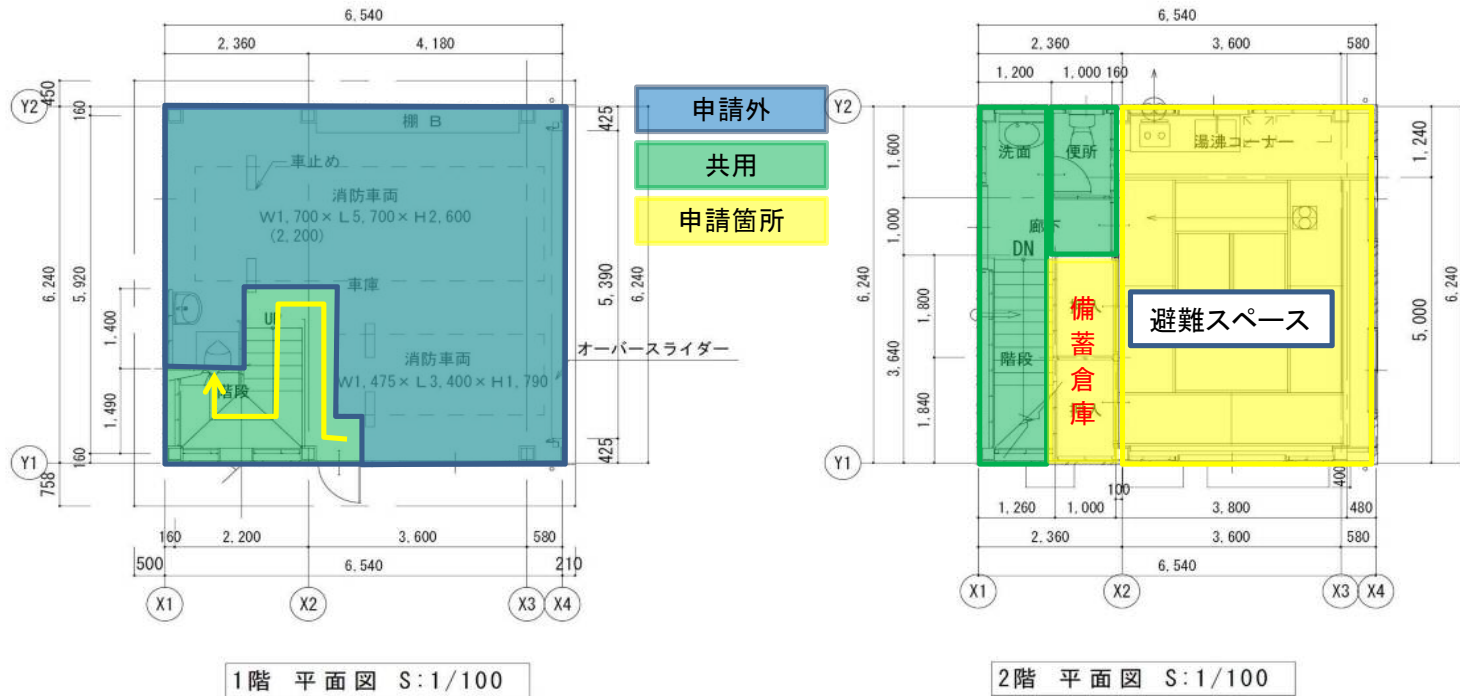
地区名	下田の口地区	面積	284ha	区域	高知県黒潮町【下田の口地区】
-----	--------	----	-------	----	----------------

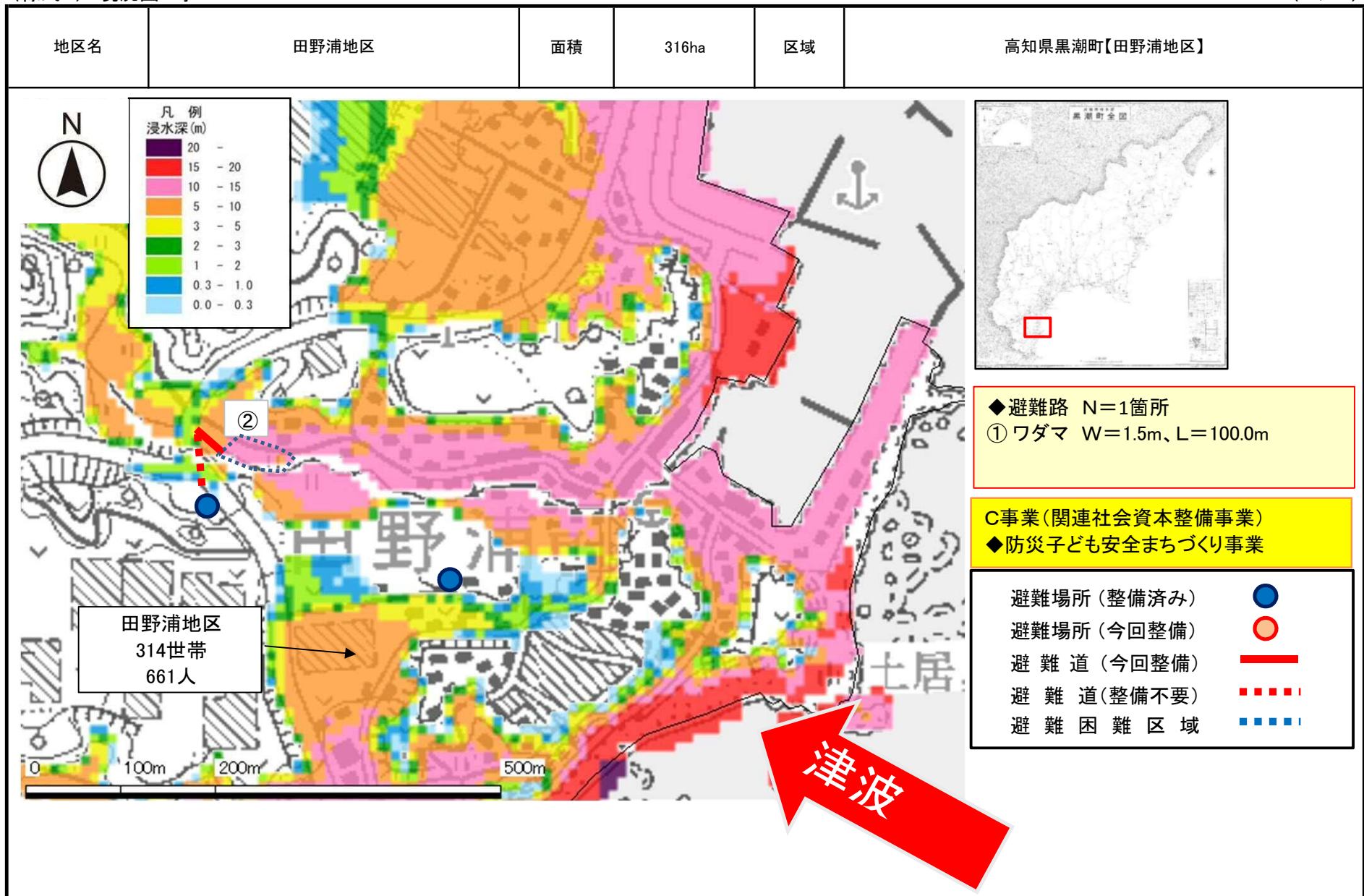


地区名	下田の口地区	面積	284ha	区域	高知県黒潮町【下田の口地区】
-----	--------	----	-------	----	----------------

防災まちづくり拠点施設図面 面積按分

○アロケの考え方
 供用面積(対象) = 供用面積 × (対象面積 / (対象面積 + 対象外面積))
 総対象面積 = 対象面積 + 供用面積(対象)
 按分率 = 総対象面積 / 総面積



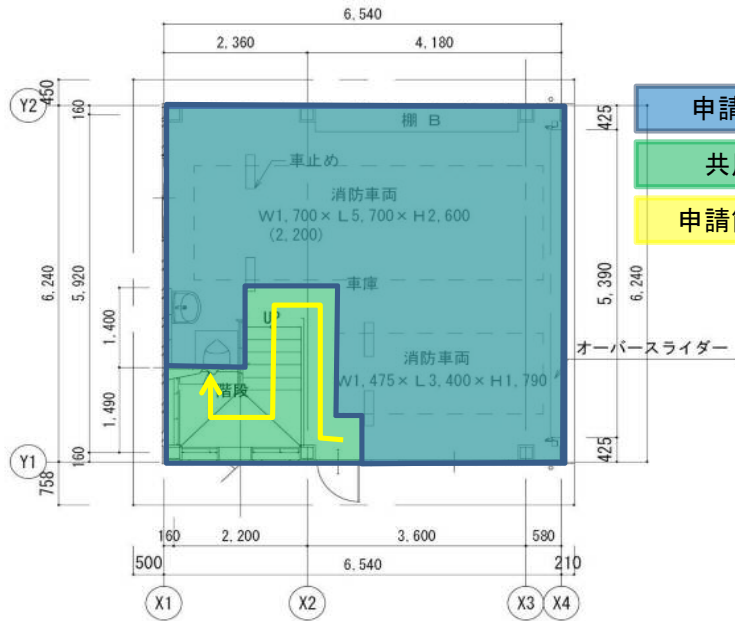




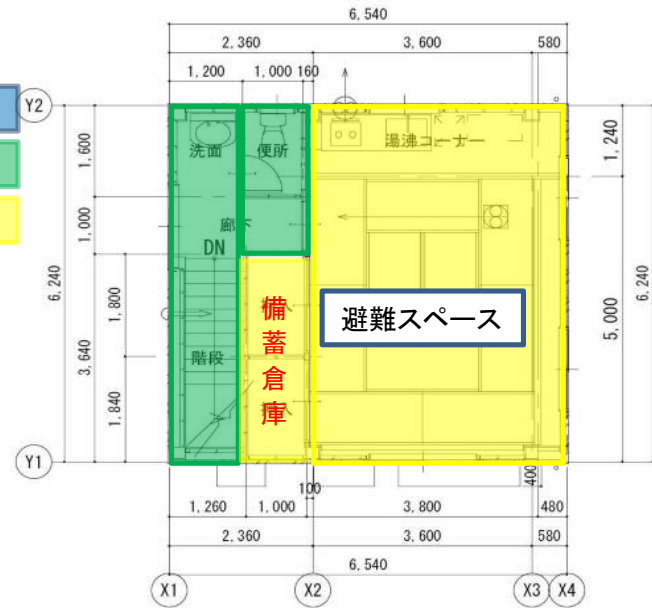
地区名	出口地区	面積	346ha	区域	高知県黒潮町【出口地区】
-----	------	----	-------	----	--------------

防災まちづくり拠点施設図面 面積按分

○アロケの考え方
 供用面積(対象) = 供用面積 × (対象面積 / (対象面積 + 対象外面積))
 総対象面積 = 対象面積 + 供用面積(対象)
 按分率 = 総対象面積 / 総面積



1階 平面図 S:1/100



2階 平面図 S:1/100